様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	①創造的文化芸術の発展を担う人材の育成
			施策の小項目名	○新たな文化芸術創出の促進や文化芸術の発展を担う人材の育成
主な取組	九州芸術祭（文学賞）の実施		対応する成果指標	沖縄県立芸術大学の卒業者数（累計）
施策の方向	・文学、音楽、美術、演劇、舞踊、メディア芸術など、県民の主体的・創造的な芸術文化活動による新たな文化芸術の創出を促進するとともに、本県の文化芸術の発展を担う人材の育成に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
芸術文化の発展を担う人材の育成を図るため、九州芸術祭文学賞として、未発表の文学作品（小説）を公募し、最優秀作を選定する。最優秀作は「文學界」（文藝春秋）に掲載される。	県	文学賞の実施		
		応募作品件数（累計）		
		30件	30件（60件）	30件（90件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	九州芸術祭事業費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	負担	1,350	1,350

予算事業名	九州芸術祭事業費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	負担	1,350

令和6年度活動内容

九州芸術祭文学賞として未発表の文学作品を公募し、県内からは28作品の応募があった。

令和7年度活動計画

芸術文化の発展を担う人材の育成を図るため、九州芸術祭文学賞として、未発表の文学作品（小説）を公募し、最優秀作を選定する。

活動指標名	応募作品件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		九州芸術祭文学賞として未発表の文学作品を公募し、県内からは28作品の応募があった。
	25件	24件（49件）	28件（77件）	30件（90件）	93.3%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

九州芸術祭文学賞の応募数が28作品あり、一定程度、県民の文学に対する意識向上が図られたと考え、順調と判断している。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
応募作品数を増加させるため、応募件数が少ない若年層への広報周知を強化する必要がある。 ホームページやＳＮＳ等を活用した情報発信を行う。	県ホームページ、テレビ、ラジオ、X（旧Twitter）にて情報発信した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	ホームページやＳＮＳ等を活用した情報発信を行った結果、目標に近い応募作品数となったが、若年層の応募は顕著に増えていない。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	応募作品数を増加させるため、幅広い世代へ広報周知を強化する必要があり、多様な媒体を活用し情報発信を行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	①創造的文化芸術の発展を担う人材の育成
			施策の小項目名	○新たな文化芸術創出の促進や文化芸術の発展を担う人材の育成
主な取組	おきなわ文学賞の実施		対応する成果指標	沖縄県立芸術大学の卒業者数（累計）
施策の方向	・文学、音楽、美術、演劇、舞踊、メディア芸術など、県民の主体的・創造的な芸術文化活動による新たな文化芸術の創出を促進するとともに、本県の文化芸術の発展を担う人材の育成に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県民及び県外・海外の県系人から文学作品を広く公募することで、本県における文学活動の推奨及び県民文化の振興を目的として、おきなわ文学賞を実施する。	県,文化振興会	文学賞の実施		
		おきなわ文学賞作品応募者数（累計）		
		150人	150人（300人）	150人（450人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県文化振興事業等推進費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	補助	54,577	54,577

予算事業名	沖縄県文化振興事業等推進費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	54,577

令和6年度活動内容

令和６年度においても、引き続き、おきなわ文学賞を実施した。

令和7年度活動計画

文学活動の推奨及び県民文化の振興を目的として、おきなわ文学賞を実施する。

活動指標名	おきなわ文学賞作品応募者数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		文学活動の推奨及び県民文化の振興を目的として、おきなわ文学賞を実施し、40作品38名の入賞を決定した。
	254人	158人（412人）	202人（614人）	150人（450人）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標を上回る応募があり、新たな文化芸術創出の促進や文化芸術の発展を担う人材の育成につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
令和５年度は学校からの応募が減少したことから、生徒たちを対象としたワークショップ等を実施することにより、おきなわ文学賞の認知度向上を図り、応募者数の増につなげていく。	県立図書館等でワークショップを開催し、おきなわ文学賞の認知度向上を図ったことで、学校からの応募を含む若い層からの応募が増加した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	今年度から実施したワークショップの効果により、10代以下の応募が増加したと考えられるため、この流れをさらに加速させていく必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	ワークショップの部門、対象者、回数等の拡充を図り、応募者数の増につなげていく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	①創造的文化芸術の発展を担う人材の育成
			施策の小項目名	○沖縄県立芸術大学における支援体制の整備やキャリア支援の推進
主な取組	沖縄県立芸術大学における就職支援		対応する成果指標	沖縄県立芸術大学の卒業者数（累計）
施策の方向	・幅広い芸術を専門的に学ぶ教育機関である沖縄県立芸術大学については、様々な学生が心身ともに充実した学生生活を送り、意欲的に学修に取り組むことができるよう、学修支援、生活支援等の学生へのきめ細かな支援体制を整備するほか、学生が個性や能力を生かし希望した進路に進むことができるよう、キャリア支援を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県立芸術大学において、学生へのきめ細やかな就職支援を行うため、企業と連携した合同説明会に取り組む。	県,沖縄県立芸術大学	芸術文化に特化・関連した職種・業種にターゲットを絞った求人開拓		
		学内合同企業説明会の実施回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/bunka/index.html

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	—			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
—	—			

予算事業名	キャリア支援事業		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
—	—		

令和6年度活動内容

学生と企業のマッチングを主な目的とした企業説明会を複数回開催するなど、卒業後・修了後の就職に向けた支援を行った。

令和7年度活動計画

引き続き、学生からの要望の高い業種を中心とした合同企業説明会を開催するなど、卒業後・修了後の就職に向けた支援を行う。

活動指標名	学内合同企業説明会の実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		学内において合同企業説明会２回開催した、
	3回	2回（５回）	2回（７回）	１回（３回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

学生の特性にマッチングできるよう学生からの要望の高い企業を参集した合同企業説明会を２回開催し、延べ26社（第１回14社、第２回12社）が参加した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　引き続き、学生と企業のマッチングを主な目的とした合同企業説明会を継続して行い、学生の就職支援に努める。	合同企業説明会には県内（16社）及び県外（10社）から芸大の特性に合った企業を招へいした。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	企業からのニーズや学生の希望などについて分析を行うことで、企業と学生のマッチング率の向上に努める必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	初任給の上昇や人手不足など、就職活動状況の把握に努めることで学生の就職を支援する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	①創造的文化芸術の発展を担う人材の育成
			施策の小項目名	○沖縄県立芸術大学における支援体制の整備やキャリア支援の推進
主な取組	沖縄県立芸術大学における教育研究活動の推進		対応する成果指標	沖縄県立芸術大学の卒業者数（累計）
施策の方向	・幅広い芸術を専門的に学ぶ教育機関である沖縄県立芸術大学については、様々な学生が心身ともに充実した学生生活を送り、意欲的に学修に取り組むことができるよう、学修支援、生活支援等の学生へのきめ細かな支援体制を整備するほか、学生が個性や能力を生かし希望した進路に進むことができるよう、キャリア支援を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
公立大学法人沖縄県立芸術大学に対して一般運営費交付金を交付し、大学運営を支援することで、中期目標で示す同大学の建学の理念を踏まえた基本目標の達成に向けた取組を支援する。	県,沖縄県立芸術大学	沖縄県立芸術大学における教育研究活動の推進		
		沖縄県立芸術大学への交付金の交付		
		交付	交付	交付

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/bunka/index.html

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	公立大学法人沖縄県立芸術大学運営費交付金等交付事業（一般）			予算事業名	公立大学法人沖縄県立芸術大学運営費等交付事業	
主な財源	実施方法	R5年度	R6年度	R7年度		

様式１（主な取組）

主な財源	実施方法	決算額	決算見込額
県単等	補助	1,296,996	1,296,996

主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	1,296,996

令和6年度活動内容

公立大学法人沖縄県立芸術大学の法人収入のみでは不足する運営に係る経費について、一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援した。

令和7年度活動計画

継続して、公立大学法人沖縄県立芸術大学の法人収入のみでは不足する運営に係る経費について、一般運営費交付金を年度毎に交付し大学運営を支援する。

活動指標名	沖縄県立芸術大学への交付金の交付		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		沖縄県立芸術大学に一般運営費交付金を交付し、大学運営を支援した。
	交付	交付	交付	交付	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和３年度に公立大学法人に移行した際に策定した中期計画に基づき一般運営費交付金を沖縄県立芸術大学に交付し大学運営を支援したことで、本県の文化芸術の振興に大きく寄与している。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
引き続き、沖縄県立芸術大学に一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援していく。	継続して沖縄県立芸術大学に一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援していく。

3　取組の検証（Check）

類型	内容

4　取組の改善案（Action）

類型	内容

様式１（主な取組）

④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	授業料免除対象学生の増加や、人件費・物件費の上昇などの社会・経済情勢の変化や、沖縄県立芸術大学の財務状況を詳細に把握する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	沖縄県立芸術大学の財政状況について、大学との情報交換などを密に行うことで、継続した運営を支援していく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施　策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくり
主な取組	国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・高齢者や障害者、青少年をはじめ広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
伝統芸能を鑑賞する機会の少ない層に向けた働きかけ及び伝統芸能鑑賞機会の提供	県,国立劇場おきなわ	伝統芸能を鑑賞する機会の少ない層に向けた働きかけ及び伝統芸能鑑賞機会の提供		
		鑑賞層を拡大するための支援件数（累計）		
		40件	40件（80件）	40件（120件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	琉球歴史文化芸術興隆事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	891	82,425

令和6年度活動内容

「琉球歴史文化の日」と関連させた若年層が文化資源に触れる機会を創出した。

予算事業名	伝統文化活性化事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	20,000

令和7年度活動計画

「琉球歴史文化の日」に関連して、未来の担い手となる県内若年層を対象とした伝統芸能の鑑賞機会を創出する。

活動指標名	鑑賞層を拡大するための支援件数（累計）					進捗状況	活動概要
			R6年度				
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	57件	30件（87件）	33件（120件）	40件（120件）	82.5%	概ね順調	小中学生等次世代の担い手たる若年層を学校・クラス単位で希望を募り国立劇場おきなわへ招待し、10月30日から11月１日の３日間でそれぞれ各２回、合計６回の伝統芸能に係る舞台公演を実施した。

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
３日間にわたって実施された舞台の鑑賞人数は合計３３団体２，４８２人（うち児童２，４６７人）となっており、目標値である４０件を８割強達成していることから、進捗状況は「概ね順調」となった。目標値に届かなかった要因としては、各学校への案内を４月以降に行ったため、年間学校行事予定に組み込むのが難しかったからではないかと思われる。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○今後も運転手不足によって貸し切りバスの手配できない可能性があるため、新たな手法（公演、ワークショップ等）を検討し、鑑賞層の拡大につなげる取り組みを実施する。	令和５年度の事業においてバスの運転手不足に直面したことから、貸し切りバスの助成ではなく、舞台を鑑賞する機会の提供およびワークショップを実施し、昨年度よりも伝統芸能に触れた児童の数を増やすことができた。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	学校の年間行事計画は４月にはすでに決定していることが多いため、４月以降に連絡しても、予定を変更することが難しい。
⑦ その他（改善余地の検証等）	若年層へのアプローチ方法が、バスの助成（手段の提供）ではなく、鑑賞の場の提供となったことで、遠隔地に住む若年層へのアプローチを検討する必要がある。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	次年度の年間計画表に盛り込んでもらえるように、情報発信の時期の検討が必要である。
⑦ 取組の時期・対象の改善	組踊ワークショップはこちらから県内各地に赴くことができるため、ワークショップ場所の選定基準の一つとして劇場への距離も考慮に入れたい。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくり
主な取組	北部・離島地域における文化芸術体験機会の提供		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・高齢者や障害者、青少年をはじめ広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
都市部と比較して実演家による文化芸術舞台公演に触れる機会の少ない北部・離島地域において、地域住民に対して専門家による文化芸術の鑑賞機会の提供を行うことで芸術の感動を体感できる環境づくりを行う。	県	北部・離島地域における文化芸術体験機会の提供		
		北部・離島地域における文化芸術体験機会の提供数（累計）		
		2公演	2公演（4公演）	2公演（6公演）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	地域の文化芸術振興事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	2,942	3,000

予算事業名	地域の文化芸術振興事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	3,500

令和6年度活動内容

令和6年度は北部・離島において３公演を実施した。

令和7年度活動計画

令和７年度は北部・離島において２公演を予定している。

活動指標名	北部・離島地域における文化芸術体験機会の提供数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和６年度は、北大東村、渡名喜村、国頭村においてクラシック公演を行い、北大東村で130人、渡名喜村で46名、国頭村で130人の集客があった。
	3公演	2公演（５公演）	3公演（８公演）	２公演（６公演）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和６年度は、計画数２公演に対し活動実績が３公演となり、達成割合100%となった。公演演目をクラシックコンサートとし、幅広い年齢層の方に優れた文化芸術を鑑賞してもらうことができた。周知広報については、公演市町村の教育委員会に後援依頼をし、村のHPや広報誌に掲載してもらった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○アンケート調査において住民ニーズを拾う項目を設ける。	○アンケート調査において、鑑賞してみたいジャンルについての設問を設けた。回答としては各地域ともクラシックが大半を占め、続いてポピュラー音楽や、演劇などのジャンルへのニーズが高いことが分かり、今後の集客増に繋げるデータが得られた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	より多くの住人に文化芸術の感動を体感してもらうため、集客方法を工夫する。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	開催地の教育委員会や文化協会に協力を仰ぎ、周知広報に協力してもらう。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施　策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくり
主な取組	沖縄県芸術文化祭の実施		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・高齢者や障害者、青少年をはじめ広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄の芸術文化の発展及び発展を担う人材を育成するため、作品を募集し、審査のうえ直接文化芸術に触れる機会を創出する。	県,文化振興会	沖縄県芸術文化祭にかかる広報及び観客誘致		
		沖縄県芸術文化祭【展示部門】及び【舞台部門】の観客数（累計）		
		6,000人	6,000人（12,000人）	6,000名（18,000人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県芸術文化祭事業費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	負担	4,718	7,070

予算事業名	沖縄県芸術文化祭事業費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	負担	6,869

令和6年度活動内容

展示部門において476点の作品の応募があった。
展示場へ、延べ6,617人の来場があり、多くの県民に文化芸術に触れる機会を提供できた。

令和7年度活動計画

沖縄の芸術文化の発展及び発展を担う人材を育成するため、作品を募集し、審査のうえ直接文化芸術に触れる機会を創出する。

活動指標名	沖縄県芸術文化祭【展示部門】及び【舞台部門】の観客数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	6,157人	7,000人（13,157人）	6,617名（19,774名）	6,000名（18,000人）	100.0%	順調	沖縄の芸術文化の発展及び発展を担う人材を育成するため、作品を募集し、審査のうえ直接文化芸術に触れる機会を創出した。

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
展示部門において、目標値を上回る6,617名の来場があったことから、多くの県民に文化芸術に触れる機会を提供できたと考え、順調と判定している。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
引き続き、県広報誌への掲載やコンビニエンスストアへのチラシ配布、県広報課ツイッターでの配信等の取り組みを行う。	特に若い世代と芸術鑑賞になじみのない層にアプローチするため、県広報誌への掲載やコンビニエンスストアのチラシ配布の依頼の取り組みを行った。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	目標値を上回る来場があり、情報発信等の強化・改善の取組が活かされている。若い世代と芸術鑑賞になじみのない層にアプローチするため、社会環境の変化に対応した取組を検討する余地があると考えられる。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	若い世代と芸術鑑賞になじみのない層にアプローチするため、体験教室や写真・美術選抜展等の取り組みを行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくり
主な取組	九州芸術祭（舞台公演）の実施		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・高齢者や障害者、青少年をはじめ広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
芸術文化の発展を担う人材の育成を図ることや県民に国の重要無形文化財である組踊や琉球舞踊等、伝統芸能の鑑賞機会を広く提供することを目的に、舞台公演として重要無形文化財保持者等公演を実施する。	県,文化振興会	九州芸術祭における舞台公演の実施		
		舞台公演数（累計）		
		1公演	1公演（2公演）	1公演（3公演）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	九州芸術祭事業費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	負担	1,350	1,350

予算事業名	九州芸術祭事業費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	負担	1,350

令和6年度活動内容

舞台公演として重要無形文化財保持者等公演を実施した。

令和7年度活動計画

舞台公演として重要無形文化財保持者等公演を実施する。

活動指標名	舞台公演数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		芸術文化の発展を担う人材の育成を図ることや県民に国の重要無形文化財である組踊や琉球舞踊等、伝統芸能の鑑賞機会を広く提供することを目的に、舞台公演として重要無形文化財保持者等公演を実施している。
	1公演	1公演（２公演）	1公演（３公演）	１公演（３公演）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

重要無形文化財保持者公演を行い、多くの県民に文化芸術に触れる機会を提供できたと考え、順調と判定とした。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
沖縄県全域に沖縄芸術文化を広く提供できるよう公演の開催地域を選定する。	沖縄県全域に沖縄芸術文化を広く提供できるよう毎年公演場所を変え、令和6年度は、かでな文化センターにおいて公演した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	県民に国の重要無形文化財である組踊や琉球舞踊等、伝統芸能の鑑賞機会を広く提供するため、毎年度、公演を行う地域を変える必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	過去の実績を踏まえ、鑑賞機会を広く提供できるような公演開催地域を選定する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施　策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくり
主な取組	県内市町村等の文化芸術に対する支援の促進		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・高齢者や障害者、青少年をはじめ広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
文化芸術の持続的な振興のために、企業等の文化芸術に対する支援を促進し、芸術家等の活動基盤の発展に取り組む。	県,市町村,民間団体	一般財団法人地域創造が行う助成事業等の活用		
		県内における助成事業の採用件数（累計）		
		3件	3件（6件）	3件（9件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	－

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	芸術・文化推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	負担	10,515	10,162

予算事業名	芸術・文化推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	負担	10,905

令和6年度活動内容

地方公共団体が行う文化事業等に対する財政支援や地域の文化環境づくりを目的としたモデル事業を実施する一般財団法人地域創造に負担金を拠出した。

令和7年度活動計画

引き続き、一般財団法人地域創造に負担金を拠出する。

活動指標名	県内における助成事業の採用件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		一般財団法人地域創造は、地方公共団体等の自主事業の企画制作能力の向上及び公立文化施設の利活用の推進等を図るため、文化に係わる様々な事業を支援している。
	5件	4件（９件）	2件（11件）	３件（９件）	66.7%	やや遅れ	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

申請者である市町村の業務多忙や人手不足、また、文化の担い手は小さい団体が多く独力では企画能力等の人材育成に限界があるため、令和6年度の助成事業の採用件数は目標値3件に対して実績2件と、進捗状況としてはやや遅れとなったと考えられる。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
引き続き文化の基層であり、地域ごとに特色がある市町村の地域の伝統芸能を集めた公演等の自主事業を支援する。	助成事業を行っている一般財団法人地域創造と連携し、地方公共団体等の文化振興の発展を支援した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	応募者数が減少傾向にあるため、応募件数の増加に向けた取り組みを工夫する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	事業周知の際に、沖縄県内における近年の事例を紹介し、申請者である市町村の企画制作を支援する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○「美ら島おきなわ文化祭2022」の開催
主な取組	美ら島おきなわ文化祭2022の開催に向けた取組		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・2022年に開催する「美ら島おきなわ文化祭2022」の成功に向けて、市町村、関係機関、県民等一丸となって取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画 活動指標（アウトプット） R4	R5	R6
県主催事業：総合フェスティバル開閉会式、沖縄文化発信事業、シンポジウム国際交流事業、障がい者交流事業	県	美ら島おきなわ文化祭2022の開催		
		美ら島おきなわ文化祭2022（国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭）の開催に向けた取組		
		実施	―	―

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	美ら島おきなわ文化祭2022開催事業		
主な財源	実施方法	R5年度決算額	R6年度決算見込額
―	―		

予算事業名		
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
―	―	

—	—	—			—	—		

令和6年度活動内容	令和7年度活動計画
公式記録および実施内容などについての問い合わせに対応した。	

活動指標名	美ら島おきなわ文化祭2022（国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭）の開催に向けた取組		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		-
	実施	—	—	—			

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
-

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
沖縄文化芸術振興計画において、沖縄大会での経験や体験を活かし、県民等の文化芸術活動の充実や、文化芸術交流の推進に取り組む。	沖縄大会での経験や体験を活かし、県民等の文化芸術活動の充実や、文化芸術交流の推進に寄与するため、沖縄文化芸術振興計画に基づく取組を実施した。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	-

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑧ その他	-

様式１（主な取組）

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	③文化資源を活用した地域づくり
			施策の小項目名	○県内各地で開催されている伝統芸能や地域行事の積極的な発信
主な取組	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業		対応する成果指標	県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数
施策の方向	・地域の歴史、伝統的風習、伝統行事等に対する住民の愛着心を醸成し、地域外との交流を通じた地域文化の掘り起こしに加え、県内各地で開催されている伝統芸能や地域行事の積極的な発信に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
市町村および関係団体に対し、琉球歴史文化の日の特設サイトへの情報掲載や琉球歴史文化の日ロゴマークの使用が可能な事業の調査をし、琉球歴史文化の日の関連事業として国・市町村・民間と連携して実施した。	県,市町村,民間団体	歴史・文化関連事業及び催物の開催		
		歴史・文化関連事業及び催物件数（累計）		
		100件	110件（210件）	120件（330件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	琉球歴史文化芸術興隆事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	17,705	82,425

予算事業名	伝統文化活性化事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	その他	72,318

令和6年度活動内容

琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施した。

令和7年度活動計画

琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施する。

活動指標名	歴史・文化関連事業及び催物件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施する。
	105件	52件（157件）	67件（224件）	120件（330件）	55.8%	大幅遅れ	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

市町村や関連団体の歴史文化関連事業の調査および琉球歴史文化の日事業としての連携の可否を年度初めの早いうちに確認しても予定が未定と回答されることがあり、関連事業及び団体の把握に苦慮した。市町村や関連団体とともに関連事業を実施することにより、県民の沖縄の歴史と文化への理解を深められた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○事業の調査時期を早めることにより実施件数を増やし、関連団体と連携するとともに、情報発信を強化していく。	調査時期を早めたことによって、事前の情報の共有やスムーズな連携につながったが、調査時期時点で「未定」という回答や、無回答の団体もあった。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	市町村や関連団体の歴史文化関連事業の調査および琉球歴史文化の日事業としての連携の可否の調査をする時点では未定の団体や、無回答の団体があった。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	調査時点で「未定」とした団体や、以前回答のあった団体に対し再照会する等照会回数を増やすほか、調査団体を増やすことで実施状況の把握に努める。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	③文化資源を活用した地域づくり
			施策の小項目名	○地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組の推進
主な取組	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップに関する取組		対応する成果指標	県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数
施策の方向	・地域に伝承するエイサー等の伝統行事や地域の食文化など、地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
文化資源を活用した文化体験プログラムを構築し実施する。	県	文化資源を活用した体験プログラムの構築・実施		
		文化体験プログラムの実施回数（累計）		
		10回	10回（20回）	10回（30回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	25,340	17,100

予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	15,444

令和6年度活動内容

選定した文化団体を県内施設へ派遣し、演舞やワークショップを開催した。

令和7年度活動計画

選定した文化団体を県内施設へ派遣し、演舞やワークショップを開催する。

活動指標名	文化体験プログラムの実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		文化団体派遣に係る周知（チラシの作成・配布、ＨＰ・ＳＮＳ・イベントでの周知、電話・訪問営業）・案内を行い、県内施設へ派遣を実施した。
	6回	4回（10回）	11回（21回）	10回（30回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

R6年度は文化体験プログラムの実施回数10回を目標値としていたが、11回実施し、目標値を超えているため「順調」と判定する。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○事業周知時期を早め、周知先も増加させるほか、文化団体の派遣報酬額を見直す等により、文化団体の派遣につながるモデルの構築を目指す。	○派遣報酬の見直しや、事業周知の強化を行い派遣回数が前年と比べ増加した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	事業の周知先の数や派遣する文化団体の候補数も改善余地がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	事業周知先を増加させるほか、登録団体の募集を強化することで派遣する文化団体の候補を増やし、文化体験プログラムの実施回数を増加させる。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	③文化資源を活用した地域づくり
			施策の小項目名	○地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組の推進
主な取組	琉球料理伝承人派遣事業（出前講座）		対応する成果指標	県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数
施策の方向	・地域に伝承するエイサー等の伝統行事や地域の食文化など、地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
琉球料理伝承人派遣事業（出前講座）を実施する。	県	琉球料理伝承人派遣事業（出前講座）の実施		
		琉球料理伝承人出前講座への参加者数（累計）		
		100人	100人（200人）	100人（300人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄食文化保存普及継承事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	19,688	17,073

予算事業名	沖縄食文化保存普及継承事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	21,348

令和6年度活動内容

沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、琉球料理伝承人出前講座を実施した。

令和7年度活動計画

沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、琉球料理伝承人出前講座を実施する。

活動指標名	琉球料理伝承人出前講座への参加者数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		琉球料理伝承人出前講座を通じ、地域住民、食関連事業者、修学旅行関係者及び学校関係者向けに琉球料理の情報を発信し、沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承が図られた。
	145人	97人（242人）	94人（336人）	100人（300人）	94.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

琉球料理伝承人出前講座を通じ、地域住民、食関連事業者、修学旅行関係者及び学校関係者に琉球料理の情報を発信し、沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承が図られた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　沖縄の伝統的な食文化について、伝承人活動を強化するなどこれまで以上にＰＲ活動に尽力する。	地域住民、食関連事業者、修学旅行関係者及び学校関係者等、複数のジャンルの団体に出前講座を実施することにより、幅広く情報発信を行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	琉球料理伝承人の活動母体となる団体の自走化を促すため、組織的な活動のノウハウの蓄積及び事務局機能の強化を図る必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	琉球料理伝承人出前講座について、これまで委託事業として実施してきたが、令和７年度は補助事業として実施し、組織的な活動のノウハウの蓄積等を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	③文化資源を活用した地域づくり
			施策の小項目名	○地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組の推進
主な取組	日本遺産普及啓発事業		対応する成果指標	県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数
施策の方向	・地域に伝承するエイサー等の伝統行事や地域の食文化など、地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信を行う。	県,市町村,関係団体等	県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信		
		Webサイトでの情報発信件数（累計）		
		12件	12件（24件）	12件（36件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	琉球文化日本遺産事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	負担	1,400	1,400

予算事業名	琉球文化日本遺産事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	負担	1,400

令和6年度活動内容

琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促した。

令和7年度活動計画

琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促す。

活動指標名	Webサイトでの情報発信件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		Webサイト等を活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促した。
	11件	10件（21件）	11件（32件）	12件（36件）	91.7%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

Webサイトでの情報発信件数について、目標12件に対し実績11件の情報発信を実施。Webサイト等を活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促すことにより、地域の活性化及び観光振興につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。	琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信するため、構成団体に関するイベント等の情報発信を行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	琉球文化日本遺産の更なる認知度向上のため、新たな周知方法を検討する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	WEBサイトのほか、SNSなど様々な媒体を活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施　策	③文化資源を活用した地域づくり
			施策の小項目名	○文化芸術活動を支える仕組みの充実
主な取組	文化芸術関係団体等への助成		対応する成果指標	県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数
施策の方向	・文化関係団体や企業の文化芸術活動に対する支援を促進し、社会全体で文化芸術活動を支える仕組みの充実に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県内文化芸術団体等による組織力向上・基盤強化に資する取組、文化芸術を次代に引き継ぐ新たな創造発信を伴う取組、文化芸術を通じて地域の諸課題解決や活性化の促進等に寄与する取組を支援する。	県	県内文化芸術活動の持続的発展に資する取組		
		県内文化芸術団体等への助成件数（累計）		
		22件	22件（44件）	22件（66件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄文化芸術の創造発信支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	73,874	81,771

予算事業名	沖縄文化芸術の創造発信支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	80,000

令和6年度活動内容

県内文化芸術活動の持続的発展に資する取組等を公募、審査、採択し、支援を行った。

令和7年度活動計画

引き続き、県内文化芸術活動の持続的発展に資する取組等を公募、審査、採択し、支援を行う。

活動指標名	県内文化芸術団体等への助成件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県内文化芸術活動の持続的発展に資する取組等を公募、審査、採択し、支援を行った。
	22件	21件（43件）	23件（66件）	22件（66件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標２２件に対し助成件数が２３件となり、社会全体で文化芸術活動を支える仕組みの充実に向け、当事業の進捗状況は順調である。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
文化芸術関係団体等へのハンズオン支援を行うとともに、助成する県内文化芸術団体等が事業実施期間をより確保できるよう、補助対象期間の設定について検討を重ねていく。	補助対象事業の決定までのスケジュールを早め、補助対象期間を半月程度長く確保することができた。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	申請件数が年々増加している中、補助対象事業者から、手続きの煩雑さ等が指摘されている。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	必要な手続きについて十分な説明を行うと共に、必要書類の明確化及び見直しについて検討する。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	④文化芸術活動を支える基盤の強化
			施策の小項目名	○文化芸術活動の場の創出及び文化発信交流拠点の充実
主な取組	沖縄県立博物館・美術館の管理運営		対応する成果指標	県内文化施設の稼働状況
施策の方向	・国立劇場おきなわや沖縄県立博物館・美術館、その他の文化芸術施設及び文化芸術施設以外の公共の施設を活用した文化芸術活動の場の創出と、伝統芸能、郷土芸能、大衆芸能等の多様な文化芸術や文化産業等の振興にも寄与する文化発信交流拠点の充実に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄の文化芸術発信拠点として、博物館・美術館の利活用促進を図るため、各種展示・関連催事等の魅力アップ、調査研究活動の充実、情報発信の強化等、県民や観光客を惹きつける博物館・美術館作りに取り組む。また、来館者が安全・快適に施設を利用できるよう施設・設備の保全修繕に努める。	県	来館者の増加に向けた周知広報等の取組		
		来館者数（累計）		
		21万人	33万人（54万人）	50万人（104万人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	博物館・美術館費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	直接実施	95,683	90,013

予算事業名	博物館・美術館費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	91,946

令和6年度活動内容

常設展・コレクション展のほか企画展・特別展を計６回開催したほか、県民を対象とした学芸員講座、バックヤードツアー等を引き続き実施した。

令和7年度活動計画

常設展・コレクション展のほか企画展・特別展を計９回開催するほか、県民を対象とした学芸員講座、バックヤードツアー等を引き続き実施する。

活動指標名	来館者数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		常設展・コレクション展のほか、企画展・特別展を計６回開催した。学芸員講座、バックヤードツアー、文化講座等を実施した。一部施設設備の修繕を実施した。
	32.7万人	48.8万人（81.5万人）	52.1万人（133.6万人）	50万人（104万人）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
沖縄の自然や歴史・芸術文化等に関する常設展・コレクション展や、本県の自然や歴史、芸術文化を再考する特別展等の開催、関連イベントや学芸員講座など多彩な催事に取り組んだ。令和５年度以降、コロナ禍前と同様の各種取り組みを継続し進めたことに加え、インバウンド客が回復傾向にある。老朽化に伴う施設設備の修繕に取り組んだ。その結果、２年連続して来館者数増となり、目標値を上回る結果となった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○県内外のお客様や、県内学校関係者等の利用促進を図るため、指定管理者と連携し、情報発信、周知広報に努める。またインバウンド客向けサービス向上のため、案内表示等の改善に努める。 ○頻発している老朽化に伴う施設・設備の不具合箇所の修繕に引き続き努める。	○来館者増を図るため、指定管理者と連携しWebやSNS等を活用した当館実施イベントの広報発信等を行った。インバウンド向けに案内表示の改善に努めるなどサービス向上に取り組んだ。 ○老朽化に伴う施設・設備の不具合の修繕に継続して努め、館の機能維持管理に取り組んだ。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	国内客、インバウンド増加等に伴い、来館者数は増加傾向にある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	経年劣化等による施設・設備の不具合・故障等が毎年発生している状況にある。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	インバウンドの増加傾向に対応したサービス向上のため、案内表示等改善のための情報収集を継続し、案内表示の改善に努める。
⑥ 変化に対応した取組の改善	施設・設備の稼働状況を継続して確認し、計画的な修繕・更新に努める。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	④文化芸術活動を支える基盤の強化
			施策の小項目名	○文化芸術活動の場の創出及び文化発信交流拠点の充実
主な取組	美術館資源発信基盤整備事業		対応する成果指標	県内文化施設の稼働状況
施策の方向	・国立劇場おきなわや沖縄県立博物館・美術館、その他の文化芸術施設及び文化芸術施設以外の公共の施設を活用した文化芸術活動の場の創出と、伝統芸能、郷土芸能、大衆芸能等の多様な文化芸術や文化産業等の振興にも寄与する文化発信交流拠点の充実に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
美術館収集資料の整理・アーカイブ化、美術館資料データベースの構築。 （美術館収蔵作品等に関する膨大な2次資料について、ICTを活用した効率的な資料情報の整理・アーカイブ化、オンライン公開用のデータベース構築による利活用しやすい情報発信基盤を整備する。）	県	美術館収集資料の整理・アーカイブ化	美術館収集資料の整理・アーカイブ化、美術館資料データベースの構築	
		美術館収集資料のデータベース構築に向けた資料群の整理件数（累計）		
		2件	2件（4件）	2件（6件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	美術館資源発信基盤整備事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	直接実施	2,486	5,225

令和6年度活動内容

資料群の整理を２件行った。web型システムパッケージの導入も含めた博物館と協働したデータベースの構築に向けた検討を行った。

予算事業名	美術館資源発信基盤整備事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	4,935

令和7年度活動計画

引き続き、二次資料情報に係る資料群の整理を行うとともに、博物館と協働したデータベースの構築に向けた検討を進める。

活動指標名	美術館収集資料のデータベース構築に向けた資料群の整理件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		美術館が保管している莫大な二次資料に係る資料群の整理（梱包単位に分類した上でリスト化を行い、出納できる状態に整理）を２件行った。他の資料群についても整理に向けた分類等の作業を進めている。
	2件	2件（４件）	2件（６件）	２件（６件）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
目標値どおり資料群の整理を２件行い、資料の利活用が可能な状態を整備できた。収集対象として毎年増え続ける膨大な二次資料について、内容の詳細確認・検討の結果、作家の作品本体（一次資料）と位置づける必要があるものや資料としての分類が難しいもの、新たな資料としての価値が見い出された資料の発見等もあった。また、新たに取りかかった資料群の寄贈者から追加の資料があるとの申出がある等更なる進展も見られた。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○館全体として効果的・効率的なシステム構築を図るため、各分野の閲覧・情報発信システムの共用可能な機能確保の検討など、博物館及び美術館が協働してシステムの見直し・更新に向けた検討を進める。 ○資料群の整理を継続しながら、令和６年度においてweb型システムパッケージの導入に向けた技術的諸条件等の再検討や適合業者等の情報を収集し、令和７年度以降の導入に向けた取組・予算確保につなげていく。	館全体として効果的・効率的なシステム構築を図るため、各分野の閲覧・情報発信システムの共用可能な機能確保を検討する前提として、館内各担当毎の意向を取りまとめ仕様策定に向けた協議を行った。その上で、業者ヒアリングを実施して仕様の調整・検討や参考見積の取得等を行った。今後も更なる調整・協議等を重ね、データベース構築に向けた取組・予算確保につなげていく。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	web型システムパッケージの導入については、物価上昇、人件費高騰等の影響もあり、参考見積額が想定を大幅に上回ったことから、導入の再検討や仕様の見直しが必要となった。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	ユーザー目線に立った効果的なシステムの公開に向けて、必要な機能の絞り込みやデータベース構築に係る全体計画のスリム化、仕様の見直し等を検討し、構築に係る必要経費の縮減・予算確保につなげていく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施　策	④文化芸術活動を支える基盤の強化
			施策の小項目名	○文化芸術活動の場の創出及び文化発信交流拠点の充実
主な取組	琉球歴史文化の日に歴史文化に関する取組を行う催物等への公共施設の無料開放		対応する成果指標	県内文化施設の稼働状況
施策の方向	・国立劇場おきなわや沖縄県立博物館・美術館、その他の文化芸術施設及び文化芸術施設以外の公共の施設を活用した文化芸術活動の場の創出と、伝統芸能、郷土芸能、大衆芸能等の多様な文化芸術や文化産業等の振興にも寄与する文化発信交流拠点の充実に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
琉球歴史文化の日に歴史文化に関する取組を行う催物等への公共施設の無料開放を実施する。	県	琉球歴史文化の日県有施設の無料開放		
		琉球歴史文化の日に県有施設で実施する歴史文化関連催物件数（累計）		
		10件	10件（20件）	10件（30件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	琉球歴史文化芸術興隆事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	17,752	82,425

令和6年度活動内容

琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、関連事業を実施するとともに、県有施設の無料開放する。

予算事業名	伝統文化活性化事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	72,318

令和7年度活動計画

琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、関連事業を実施するとともに、県有施設の無料開放する。

活動指標名	琉球歴史文化の日に県有施設で実施する歴史文化関連催物件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、関連事業を実施するとともに、県有施設の無料開放した。
	5件	4件（9件）	4件（13件）	10件（30件）	40.0%	大幅遅れ	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
琉球歴史文化の日（11月1日）に一部県有施設の使用料および観覧料を免除することとしているが、歴史文化関連催物での活用が進んでいない。11月1日が平日であったことに加え、使用料の免除に係る周知不足が要因と考えられる。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　琉球歴史文化の日（11月1日）の広報（Webサイトの作成等）に併せ、施設の使用料免除等を周知していく。	○　琉球歴史文化の日（11月1日）の広報（Webサイトの作成等）に併せ、施設の使用料免除等を周知するにあたり、周知時期を早めることで活動数を増やそうと試みたが、時期が早く、未定と回答する団体もあった。

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	使用料減免に係る周知広報不足。また、使用料免除等の周知をしても、財政上の理由から断られることもあった。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	琉球歴史文化の日の広報（Webサイトの作成等）に併せ、施設の使用料免除等を積極的に周知していくとともに、財政的な損得ではなく、県民が琉球歴史文化に触れることの意義についても併せて周知する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施　策	④文化芸術活動を支える基盤の強化
			施策の小項目名	○文化芸術活動の場の創出及び文化発信交流拠点の充実
主な取組	文化発信交流拠点の充実		対応する成果指標	県内文化施設の稼働状況
施策の方向	・国立劇場おきなわや沖縄県立博物館・美術館、その他の文化芸術施設及び文化芸術施設以外の公共の施設を活用した文化芸術活動の場の創出と、伝統芸能、郷土芸能、大衆芸能等の多様な文化芸術や文化産業等の振興にも寄与する文化発信交流拠点の充実に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
文化芸術活動の基盤を強化するため、文化施設等に対する調査を実施し、文化発信交流拠点の充実のために必要となる施策を検討する。	県	文化発信交流拠点の充実		
		文化発信交流拠点の充実に向けた取組		
		調査等実施	調査等実施	調査等実施

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	文化発信交流拠点整備事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	直接実施	6,098	173

予算事業名	文化発信交流拠点整備事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	9,800

令和6年度活動内容

県内文化施設の稼働率について調査するとともに関係団体との意見交換を行い、施策を検討した。

令和7年度活動計画

県内の文化団体の道具類保管費用及び稽古場使用費用への支援を行う。

活動指標名	文化発信交流拠点の充実に向けた取組		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		文化発信交流拠点の充実に関する調査を実施した。 また、これまでの調査等を基に必要な施策の検討を行い、令和７年度から県内文化団体への道具類保管費用及び稽古場使用費用への支援を行うこととした。
	調査等実施	調査等実施	調査等実施	調査等実施	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
文化発信交流拠点の充実に向けた取組として、文化発信交流拠点の充実に関する調査を実施し、進捗状況としては順調となった。これまでの調査等で得られた結果を基に、文化芸術施設及び文化芸術施設以外の公共の施設を活用した文化芸術活動の場の創出に向けて前進した。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
文化発信交流拠点の充実に関する調査を実施し、必要な施策を検討する。	これまでの調査等を基に必要な施策を検討し、令和７年度から県内文化団体への道具類保管費用及び稽古場使用費用への支援を行うこととした。

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	文化発信交流拠点の充実に向け、多様な文化活動におけるニーズをより正確に把握する必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	県内文化団体への道具類保管費用及び稽古場使用費用への支援を行いつつ、関係団体への聞き取り等によりニーズの把握と課題の整理に努め、必要に応じて取組の見直しを図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	④文化芸術活動を支える基盤の強化
			施策の小項目名	○社会全体で文化活動を支える環境づくり
主な取組	企業の文化芸術に対する支援の促進		対応する成果指標	県内文化施設の稼働状況
施策の方向	・NPO、文化ボランティア活動、企業等の芸術文化支援を促進するなど、社会全体で文化活動を支える環境づくりに取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
文化芸術の持続的な振興のために、企業等の文化芸術に対する支援を促進し、芸術家等の活動基盤の発展に取り組む。	県,企業	県外の財団等が行う文化に関する助成等の活用促進		
		県外の財団等が、県内の文化団体等へ対して行う助成等の件数（累計）		
		6件	6件（12件）	6件（18件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	芸術・文化推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	負担	10,515	10,162

予算事業名	芸術・文化推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	負担	10,905

令和6年度活動内容

地方公共団体が行う文化事業等に対する財政支援や地域の文化環境づくりを目的としたモデル事業を実施する一般財団法人地域創造に負担金を拠出した。

令和7年度活動計画

引き続き、一般財団法人地域創造に負担金を拠出する。

活動指標名	県外の財団等が、県内の文化団体等へ対して行う助成等の件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		芸術家等の活動基盤の発展のため、一般財団法人地域創造を通じて、市町村の地域の伝統芸能等を集めた公演等の自主事業等への支援を行った。
	10件	15件（25件）	10件（35件）	６件（18件）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和６年度は、助成事業の採用件数は目標６件に対し実績１０件となり、地方公共団体等の自主事業の企画制作能力の向上及び公立文化施設の利活用推進に寄与したものと考える。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　引き続き文化の基層であり、地域ごとに特色がある市町村の地域の伝統芸能等を集めた公演等の自主事業を支援する。	一般財団法人地域創造と連携し、地方公共団体等の文化振興の発展を支援した。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	文化の担い手は小さい団体が多く、独力では企画能力等の人材育成に限界がある。 市町村へ本事業の浸透を図るため、さらなる普及啓発が必要である。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	一般財団法人地域創造と連携し、未実施の市町村への説明を行う、発信回数を増やすなど、助成事業の周知を強化する。